

京都暁星高校ウォークソンにご協力ください

2018年度 学校クリスマス テーマ 《 選ぶ 》

宇宙から見た地球は青く美しく輝いていますが、地上では大国による領土争いや紛争による破壊などの悲惨なニュースが絶えません。また私達が便利で快適な生活を求めた結果として、地球温暖化が進み自然災害が多発しています。**私達はいったい何を選んできたのでしょうか。今立ち止まって考える時が来ているのではないのでしょうか。** 聖書の中には「選ぶ」という言葉が60ヶ所出てきます。 私達の人生には大切な分かれ道が無数にあります。人間関係から環境問題に至るまで様々な決断をするためには**一番大切なことを一番大切に出来る素敵な根拠**が必要です。いつもそんな根拠を持って、自分も皆も喜べる選びが出来れば最高です。

今年もクリスマスを迎えるための準備の季節がやってきました。日々の奉仕を通して良い選びが出来ることを祈ります。



京都暁星高等学校では、これまで15回のウォークソンを実施し、多くの方の協力を頂くことで、フィリピンやネパール・岩手県釜石などへの支援を続けてきました。ご協力頂いた皆様に改めて感謝申し上げます。

今年度も昨年と同様にネパール支援を中心としたウォークソンを実施いたします。一人でも多くの方に私達の活動を知っていただき、支援にご協力いただきますようお願いいたします。

今年のウォークソンで支援する予定のプロジェクト

- | | | |
|---|--------------------|----------------|
| 1 | ネパールでの水路建設プロジェクト支援 | (ネパール・ボテシパ村) |
| 2 | 井戸の建設 | (ルソン島 ヌエバエシハ州) |
| 3 | スカラーシップ支援 | (ミンダナオの学生) |
| 4 | カリタス釜石の活動支援 | (東日本震災復興支援) |
| 5 | ネパールワークキャンプ活動支援 | |

ネパール研修の様子

台風 21 号の影響で関西空港が使えず、急ぎよ中部国際空港からの出発となりましたが、ネパールのボテシパ村での水路建設や学校訪問など、予定したプログラムを全て行うことができました。

生徒の感想から

■ パイプラインのワークは、宿泊していたアジア協会のベースから、みんなでトラックの荷台に乗って一時間ほどの場所で行った。雨季が終わって間もないため本当に道が悪かった。毎年乾季になると道を平らに均すらしいが、均しても雨季が来るとこの状態に戻ってしまうというので、移動でもかなりの不自由があることを実感した。ワーク地に着き、作業を始めたが、思っていたよりも気温が高く炎天下での作業になった。幾重にも重なった土の層に大きな石がゴロゴロと埋まっていて、それをはがすように掘り進めるのは本当に大変だった。現地の方は、男性も女性も道具を手に取り、僕たちが休憩している間もずっと作業を続けていた。現地の方の体力には驚かされると同時に自分の力不足を感じた。今回のワークでは水源から三か所の水場まで水を引くことができた。蛇口から流れる水を見たときは、暁星の生徒、先生とアジア協会の皆さん、村の方々、全員の力でこれだけの仕事ができただと感動した。



■ 研修の 4 日目、ボテシパ村の学校・チャンドスワリセカンダリースクールに支援物資を届けに行った。学年は 10 年生までであり、生徒数は 380 人を超える。話には聞いていたものの、本当に多くの子ども達がいって面食らった。ネパール語で自己紹介をした時、皆が私の名前を繰り返して

くれたのがとても嬉しかった。印象に残っているのは、子ども達の目の輝きだ。こちらを見る目はものすごくキラキラしていた。それは一緒に遊ぶ時も同じで、折り紙で鶴の折り方を教えていると、まっすぐに目を見て「これは？」という感じで作りかけの鶴を見せてくる。興味津々な様子が、覗き込んでくる顔の表情や目の輝きから伝わってきて、思わず私も笑顔になった。

